

Golden Star LAWN MOWER

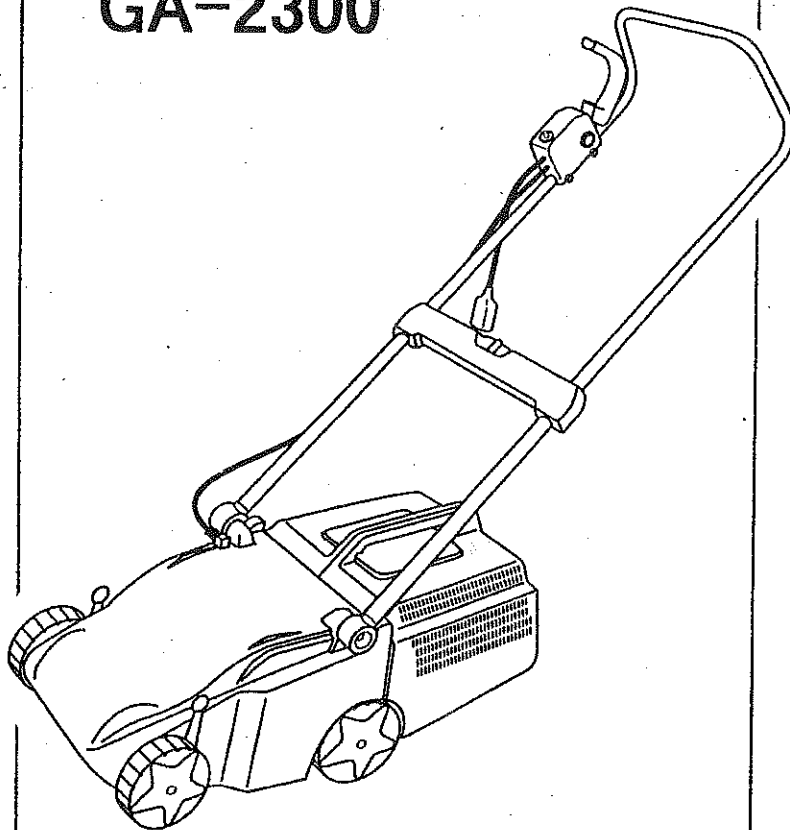
取扱説明書

ゴールドスター

電気芝刈機

ターフモアー

GA-2300



— お買い上げありがとうございました。 —



警告

- この取扱説明書は、いつでも使用できる所に大切に保管して下さい。
- ご使用前に、まずこの取扱説明書をよく読まれ、本機の機能をご理解の上、正しく安全に使用下さるようお願い致します。

目次

	項
1. 安全にお使いいただくために	1 ~ 3
2. 各部の名称と危険・警告ラベル貼付位置	4
3. 仕様	4
4. 準備	5
1) ハンドル	5
2) キャッチャーの組立	5
3) キャッチャーの取付	6
5. 作業前の点検	7
6. 作業操作方法	7
1) 刈り高さ調整	7
2) 電源プラグの接続	8
3) スイッチレバーの操作方法	8
4) ブレーカー(過負荷保護)ボタン	9
5) 刈り込み作業	9
7. 点検・整備・調整	10
1) 回転刃と受刃の調節	10
2) 回転刃と受刃の交換	11
8. お手入れと保管方法	13

1. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では『危険』『警告』『注意』の警告事項について、次のように定義しています。

危険

・誤った取扱いをした時に、**重傷または死亡**につながる重大事故が発生する可能性があるとき

警告

・誤った取扱いをした時に、**重大な傷害**を受ける事故が発生する可能性があるとき

注意

・誤った取扱いをした時に、**軽傷または中程度の傷害**を受け、**財物の損壊等**につながる事故が発生する可能性があるとき

本機のご使用前に、以下の危険、重要警告及び注意事項をよくお読みいただき、理解し必ず守って下さい。

危険

重大事故が発生する場合がありますので、絶対にやめて下さい。

1. 刃部に手足等身体を近づけないで下さい。

特に、電源プラグがコンセントに差し込んでいる間は、誰も絶対に刃部に身体を近づけないで下さい。

警告

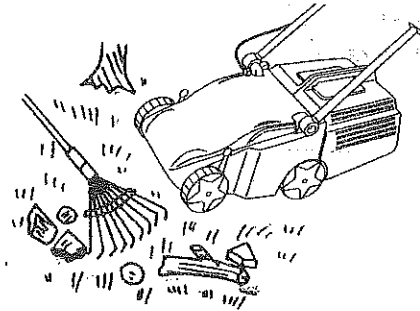
人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守って下さい。禁止事項は絶対にやめて下さい。

1. 芝刈り作業以外には使用しないで下さい。
・特に芝刈機に、お子様や物品を乗せないで下さい。

2. 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめ下さい。

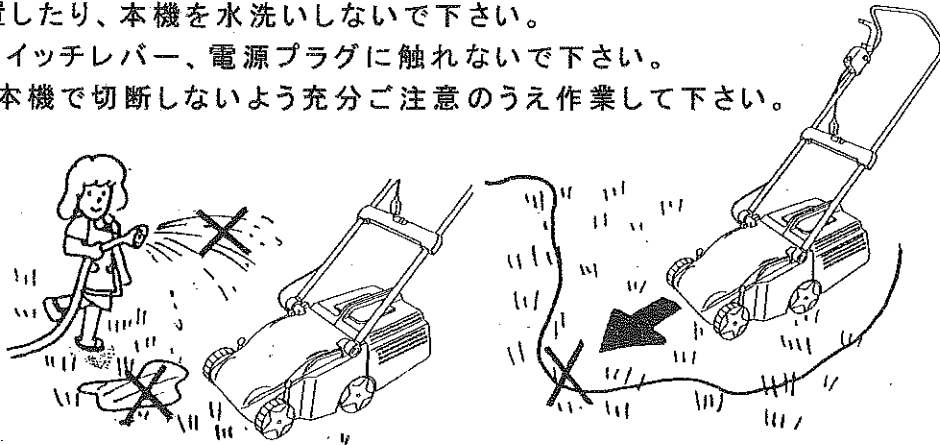
3. 延長コードは、屋外用125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。

4. 使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いて下さい。



5. 感電の恐れがありますので、下記は必ず守って下さい。

- ・雨中での作業はしないで下さい。
- ・雨上がりや散水直後の作業はしないで下さい。
- ・雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
- ・濡れた手でスイッチレバー、電源プラグに触れないで下さい。
- ・延長コードを本機で切断しないよう充分ご注意のうえ作業して下さい。



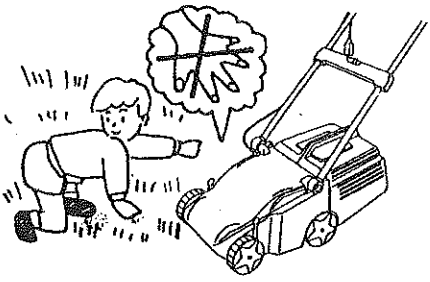
6. 次の作業は、本機のスイッチを切り、電源プラグを抜いてから行って下さい。

- ・組み立てる時。
- ・グラスキャッチャー(集草器)の脱着時。(ハンドルは、前に倒して地面に置いて下さい。)
- ・ハンドル(上)の伸縮操作をする時
- ・刈高さの調節をする時。
- ・回転刃に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。
直ちに使用を中止し、スイッチを切り、電源プラグを延長コードのプラグより抜いた後、異物を取り除き、回転刃、受刃等本機に異常がないか点検し、異常があれば修理して下さい。
- ・回転刃(リール)と受刃(ベトナムナイフ)の調節・交換を行う時。
- ・Vベルトの点検をする時。
- ・その他調整・点検・修理を行う時。
- ・持ち運びする時。
- ・使用しない時。保管する時。

7. 30分以上連続して作業をする場合は、10～15分間の休憩をとって身体を休ませて下さい。

⚠ 注意

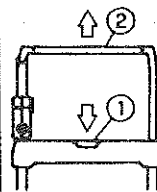
人がケガをしたり、物が壊れたりする原因となりますので、充分ご注意ください。

1. 使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認してください。
 - ・各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
 - ・本機の組立を適切に行ってください。
 - ・刃調整を適切に行ってください。※ 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、適切な調整・修理を行ってください
2. 使用中は、他の人や動物を近づけないようにして下さい。
3. 本機の操作方法をご存じない方、または理解できない方には操作させないで下さい。
4. 濡れた芝を刈らないで下さい。
感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど芝刈機の故障の原因となります。
5. 傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしないで下さい。
 - ・ハンドルを立てた状態では倒れやすく、転倒の恐れがあります。
6. グラスキャッチャー（キャッチャー天窓含む）、ベルトカバー等部品を外した状態で使用しないで下さい。
7. 操作時はいつでも安全に注意し、作業に適した服装をして下さい。
 - ・だぶついた服はさけ、作業に適した服装に、滑りにくい靴・ゴム手袋を装着して下さい。
8. 回転刃の調節、手入れなどを行う場合は、必ず手袋を着用して下さい
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気の少ない所に保管して下さい。
 - ・サビが発生したり、刃が切れなくなる場合があります。
10. 使用後は、お子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管して下さい。
11. 収納する時は、ハンドルを縮めて、倒れても危険のないようにして下さい。
12. 本機の修理は必ずお買い求めの販売店へお申し付け下さい。
 - ・本機に異常を感じた時は、ただちに作業を中止して下さい。
 - ・当社指定のサービスマン以外、取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないで下さい。
13. ゴールドenster純正の部品、付属品を使用して下さい。
 - ・本機指定の純正部品以外、使用しないで下さい。

2. 各部の名称及び危険・警告ラベル貼付位置

警告

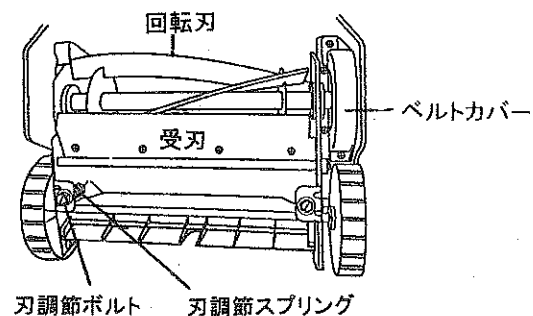
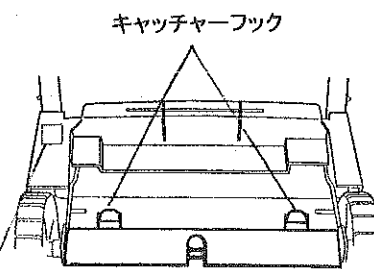
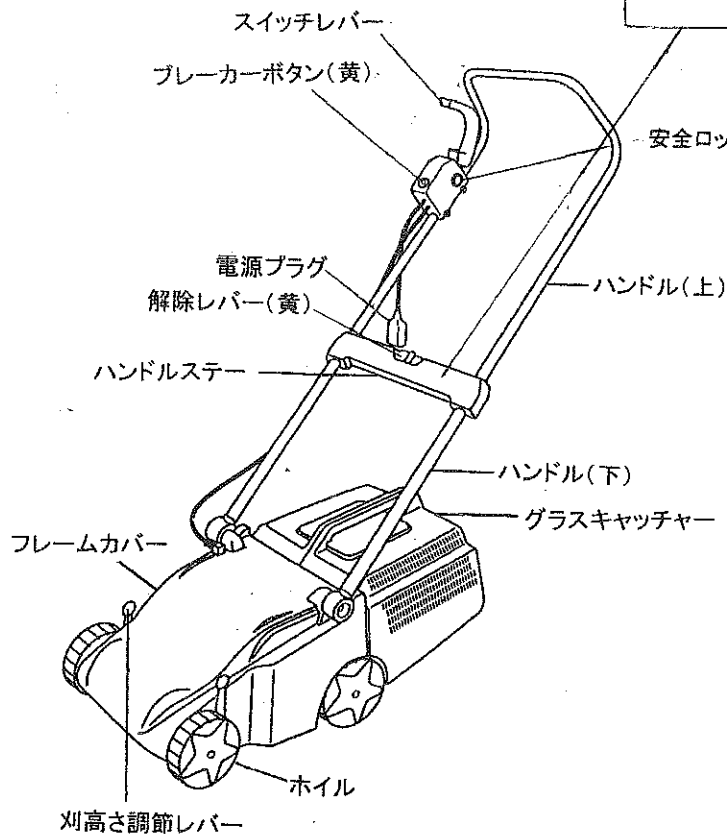
1. 使用前には、必ず取扱説明書を最後までお読みください。
2. 芝刈をする場所の障害物(小石・木片・ピン・金剛等)は、前もって取り除いてください。
3. 雨天・散水直後など芝生が濡れている状態で使用はしないでください。
4. 本機を水洗いしたり、雨の中に放置しないでください。
5. ご使用中に人や動物を近づけたり、お子様に使わせしないでください。
6. 刈高さ調節・キャッチャーの取付/取外し・点検/調整・移動時には、必ず電源プラグを延長コードのプラグから抜いて、回転刃が停止している事を確認してから行ってください。
7. 電源プラグが差込まれている時に、本機の排出口・回転刃付近に手・足その他異物を絶対に入れないでください。



警告

- ハンドルの伸縮操作は、ゆっくりと確実に行って下さい。急激な操作は、ロック機構の故障と作業者の転倒を招く恐れがありますので絶対にしないで下さい。
- ハンドル(上)が、確実に固定されているか作業場に確認して下さい。

1. ハンドルの伸縮操作方法は、始めにロック解除レバー①を押込みながら、ハンドル(上)②をゆっくりと伸ばし(又は縮め)て下さい。
2. 調節位置は、上、下の2箇所です。



3. 仕様

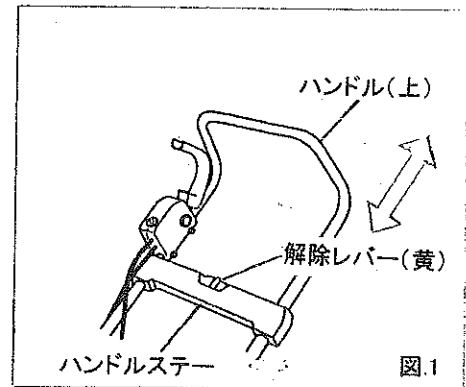
型式	GA-2300型	刈込高さ	10、15、20、25mm
定格電圧	100V	刈込能力	400m ² /H
定格周波数	50/60HZ	重量	8.0kg
定格消費電力	350W	本体寸法	長さ1,067×幅327×高さ800mm
定格時間	連続	付属品	キャッチャー(右・左) キャッチャー天窓(各1個) コードバンド(1本) スクリュー(4×12 3本) 工具(ドライバー・ボックスレンチ10m/m) 延長コード10m(125V・7A・0.75mm) スタンディングパッド 1個
刈込方法	リールカッター式・3枚刃		
刈込幅	230mm		

※本仕様は改良のため変更することがあります。


4. 準備

1) ハンドル


- (1) 出荷時には、ハンドル（上）はハンドル（下）に挿入されていますので、次の順序でハンドル（上）を伸ばして下さい。
- (2) ハンドルステーに付いていますロック解除レバーを片手で押し込みながら、もう一方の手でハンドル（上）をゆっくりと伸ばして（引いて）下さい。（図. 1）
- (3) ハンドル（上）が2～3 cm伸びてくるとロック解除レバーを押し込むのをやめ、片手でハンドルステーをしっかりと握り、さらにゆっくりとハンドル（上）を伸ばします。
- (4) ハンドル（上）が一定の長さまで伸びると、ロック機構が働き、ハンドル（上）を固定します。



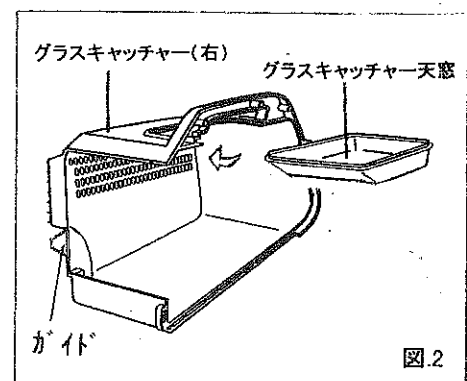
※ ハンドル調節位置は、上（作業位置）・下（収納位置）の2ヶ所です。それ以外の位置では使用しないで下さい。

 警告	<p>ハンドル（上）の伸縮操作は、ハンドルステーを確実に握りゆっくりと行って下さい。急激な操作は、ロック機構の故障による作業者の転倒をまねき大変危険ですので絶対にしないで下さい。</p> <p>ハンドル（上）が確実に固定されているか、作業前に必ず確認して下さい。</p>
--	---

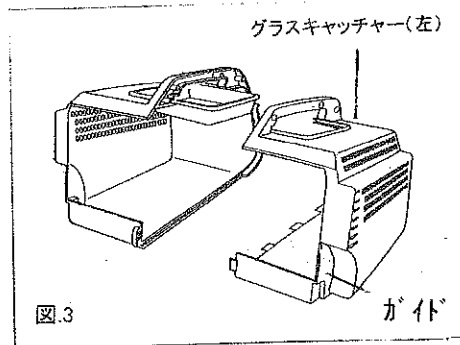
2) グラスキャッチャーの組立

 警告	<p>グラスキャッチャーの組立及び本機への取付は確実に行って下さい。作業中にグラスキャッチャーが本機より外れ、刈り取った芝生・小石等が飛び散り、ケガの恐れがあります。</p>
---	---

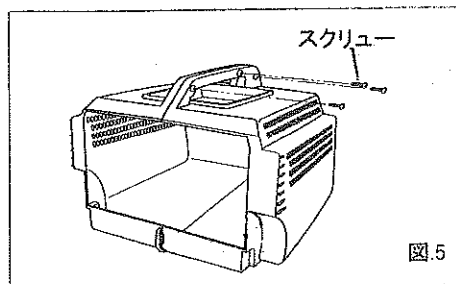
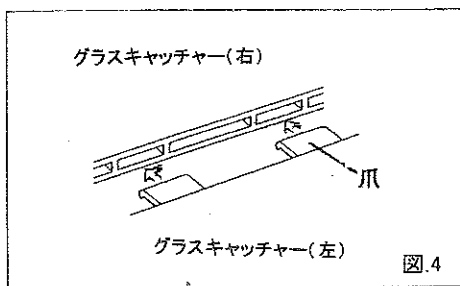
- (1) グラスキャッチャー（右）の切込部にグラスキャッチャー天窓を差込みます。（図. 2）
- (2) 次にグラスキャッチャー（左）の切込部を、グラスキャッチャー天窓に差込みます。（図. 3）




- (3) 次に、グラスキャッチャー(左)の底に付いている4本の爪をグラスキャッチャー(右)の底に付いている長穴に軽く差込みます。
この時、4本の爪が穴に入っている事を確認して下さい。(図. 4)
そして、グラスキャッチャー(右)・(左)を軽くたたいて爪を穴に差し込んで下さい。
爪は全部で7ヶ所有ります。



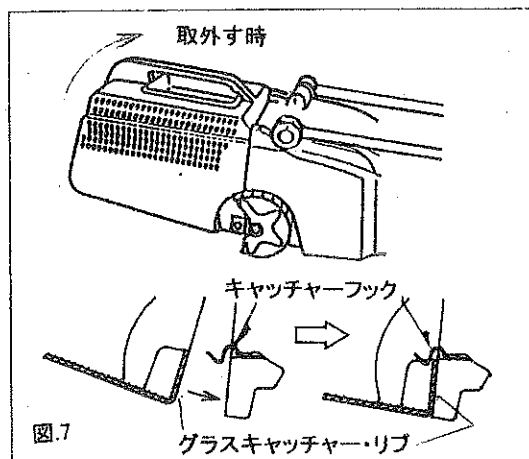
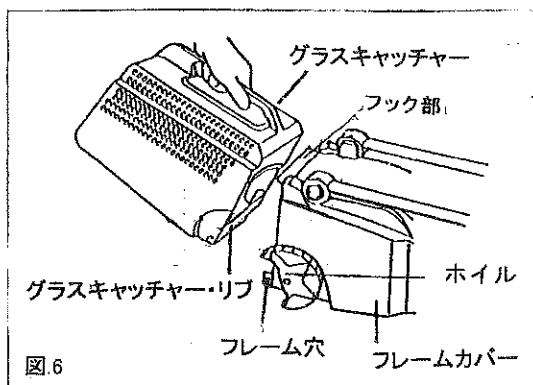
- (4) 爪が確実に差し込まれてから、付属のドライバーを使ってスクリュウ3本でグラスキャッチャー(右)・(左)を固定して下さい。(図. 5)



3) グラスキャッチャーの取付

 警告	<p>グラスキャッチャーの取付・取外しは電源プラグを延長コードのプラグより外して、ハンドルを前に倒して地面に置いて下さい。</p>
---	---

- (1) 組立が完了したグラスキャッチャーをフレームカバーのフック部に引掛けます。(図. 6)
- (2) 次にグラスキャッチャー下部のリブが、キャッチャーフック(金属)に引掛かる様にフレームを一方の手で支えながら押し込みます。(図. 7)
(長い芝生の上では取付難しい場合があります。)
- (3) 取り外す時は、逆にグラスキャッチャーの後側を持ち上げる様にしてゆっくりと外して下さい。

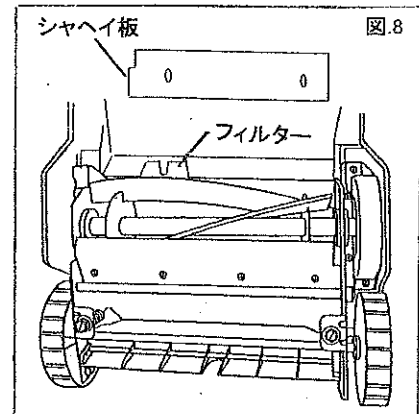


5. 作業前の点検

⚠ 注意

使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認して下さい。

- (1) 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
- (2) ハンドルのロック機構の確認、グラスキャッチャー等本機の組立を適切に行ってください。
- (3) 刃調整を適切に行ってください。(点検・整備・調整の項を参照して下さい)
- (4) 延長コード、電源プラグなど電線が熱をもったり、断線がないか確認して下さい。
- (5) 本機が熱をもったり、その他異常がないか確認して下さい。
- (6) フィルターに付いた芝・ゴミを取り除いて下さい。(フィルターは、シャヘイ板の下側にあります。)



6. 作業操作方法

1) 刈高さ調節

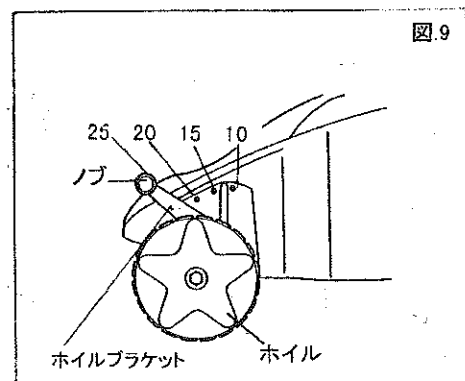
⚠ 警告

刈高さ調節をする時は、必ず電源プラグを延長コードのプラグから抜いてから行って下さい。

⚠ 注意

刈取り高さは芝生に応じた調節になっているか確認して下さい。刈高さは右・左必ず同じ高さにして下さい。刈高さが違うと大切な芝生を傷める恐れがあります。刈高さは、あくまでも目安の高さで作業される場所によって変化します。

- (1) 刈高さの調節はホイールに手をそえ、ホイールブラケットのノブを親指でホイール側へ軽く押しながら希望する高さに調節して下さい。
- (2) 必ず左右同じ位置で高さ調節して下さい。
- (3) 刈高さは10、15、20、25mmの4段階に調節ができます。
※刈高さは、あくまでも目安です。



2) 電源プラグの接続



警告

延長コードは、屋外用125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。

- (1) 本機側電源プラグと延長コードのプラグを接続してプラグカバーをかぶせて下さい。
(この場合、軽く結んでおくと使用中にも簡単に抜けることはありません。 図. 10)
- (2) 延長コードのプラグを家庭用コンセント(AC 100V)に差し込みます。

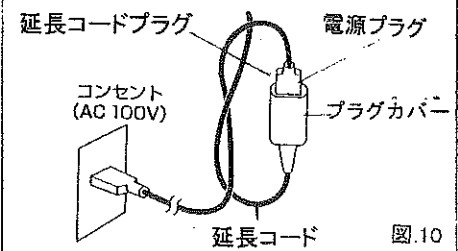


図.10



注意

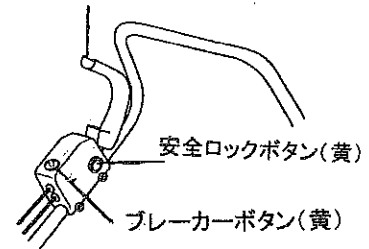
必ず家庭用コンセント(AC100V)を使用して下さい。エンジン発電機等を使用されると、本機の故障の原因になります。

3) スイッチレバーの操作方法 (図. 11)

- (1) 安全ロックボタンを押した状態で
- (2) スイッチレバーを手前に引くとスイッチが入り回転刃が回転します。
- (3) スイッチレバーから手を離すとスイッチが切れ回転刃の回転が止まります。

※ ボタンを押さなくてもスイッチレバーは動きますが、電源は入りません。

図.11



警告

・スイッチが切れても、回転刃の回転はすぐには止まりません。点検・調整時には、回転刃の回転が止まっている事を確認し、電源プラグを延長コードのプラグから抜いて行って下さい。

4) ブレーカー (過負荷保護) ボタン

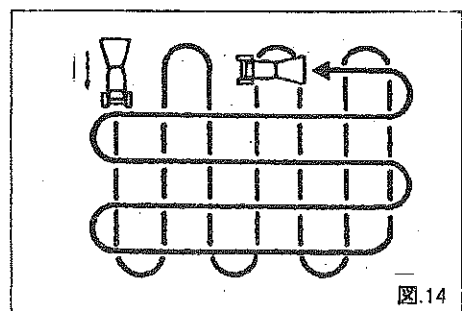
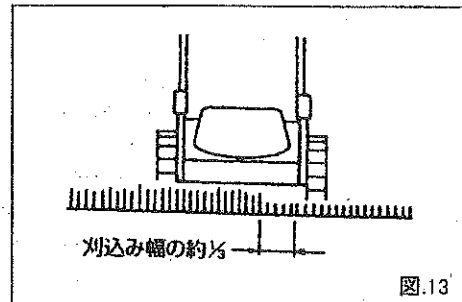
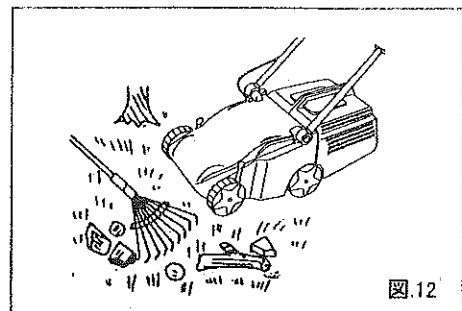
- (1) 作業中、モーターに異常負荷がかかると、ブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。
- (2) すぐにスイッチレバーから手を離してスイッチを切り電源コードを延長コードのプラグから抜いて下さい。
- (3) 過負荷の原因である刃に絡まった芝・雑草・異物や排出口付近にある芝・雑草等を取り除いて下さい。
- (4) 約30秒以降にブレーカーボタンを押し電源コードと延長コードのプラグを差込み、作動確認をして下さい。

警告

・ 芝刈機に詰まった芝生・雑草・異物を取り除く時は必ず電源コードをプラグから抜いて下さい。

5) 刈り込み作業

- (1) ご使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いて下さい。
 - ・ 作業中、もし、石や硬い物にあたったときは、必ず電源プラグを延長コードのプラグから抜いて刈刃の回転が停止したことを確認してから、刈刃・回転刃に割れ、欠けなど異常の有無を必ず点検して下さい。(図. 12)
- (2) 芝刈機の刈り込み幅を全部使わないで、常に刈り込み幅の約1/3程度重複して刈れば、平らにしかもきれいに刈れます。(図. 13)
- (3) 一通り刈り終わりますと、今までと直角する方向で刈り込めば、刈り後がきれいになります。(図. 14)
- (4) 50mm以上長く伸びた芝を刈る場合は、あらかじめ刈払機・芝生バサミ・鎌等の道具を用いて、50mm以下になるように下刈を行います。次に、日をあけて本機の最大刈り込み高さ25mmで刈り込んだ後に希望の高さで刈り込んで下さい。



注意

・ 長く伸びた芝生を刈り取る場合は、最初刈り高さを高くし、日をおいて順次高さを低くして刈り込んで下さい。最初から短く刈り込むと、芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も痛めます。

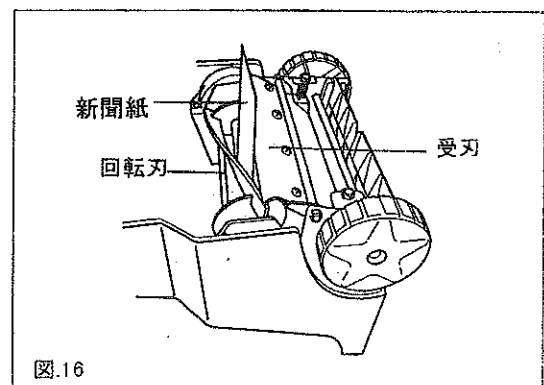
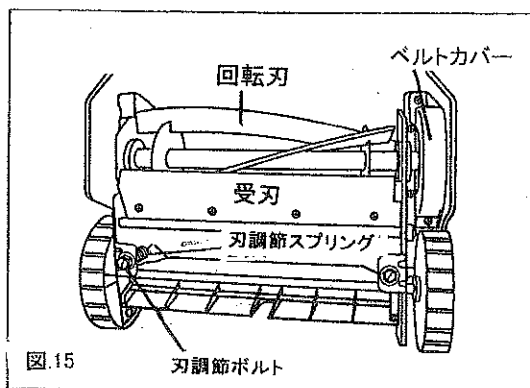
7. 点検・整備・調整

警告

- ・点検・整備・調整時には、必ず電源コードを延長コードのプラグより抜いて、ケガ防止の為に手袋を着用して下さい。

1) 回転刃（リール）と受刃（ベットナイフ）の調節

- (1) 最初の運転には、運送中などに調子が変わっている場合がありますので、点検・調整して下さい。芝刈り作業前には、必ず刃調整を行って下さい。付属のボックスレンチを使って、刃調整ボルトを右にまわし（締める）、または左まわし（緩める）することにより調節します。 (図. 15)
- (2) 刃の摺合わせの調節は必ず左右平均に僅かに摺合う程度とし、摺合わせ音が全く出ない時は回転刃と受刃の間に隙間があり、全く切れません。また強すぎると刃物の寿命を短くし、機械に負担がかかり過ぎ故障の原因となりますのでご注意下さい。
- (3) 正しい調節とは多少の接触音を出し、受刃に直角になるように新聞紙を入れ回転刃を手で廻して切れる程度です。 (図. 16)



2) 回転刃、受刃の交換

(1) 本機を裏返し、ベルトカバーを取り付けているスクリュー2本をはずしベルトカバーを取って下さい。(図. 15)

(2) 刃調節ボルト2本をはずし、受刃が軽く動く様にします。(図. 17)

※この時にワッシャー・刃調節スプリング・T型ナットも外れますので部品をなくさないようにして下さい。(図. 18)

(3) ベアリングホルダーを取付けているスクリュー4本(右・左各2本)を外し、ベアリングホルダーを取って下さい。(図. 18)

(4) ベルトをリールプーリーから外して回転刃を交換して下さい。

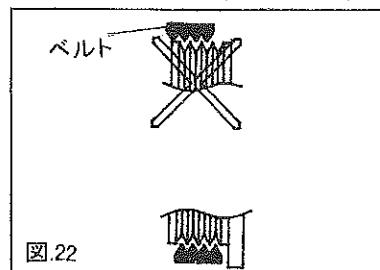
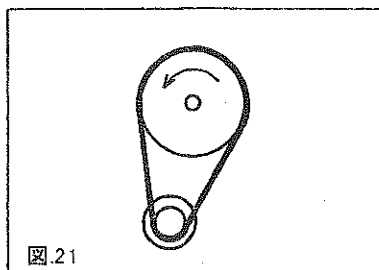
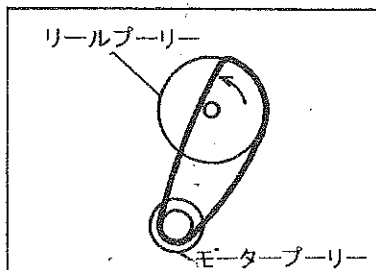
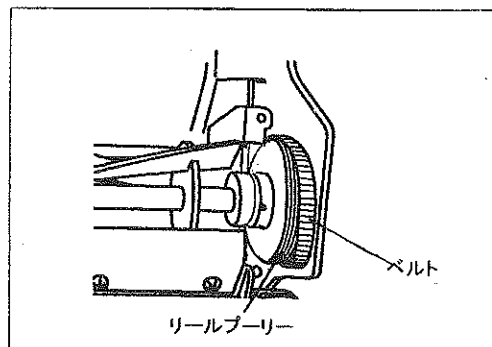
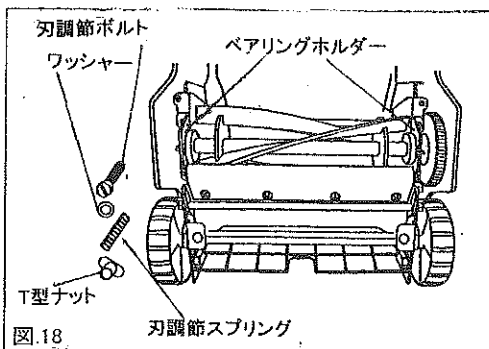
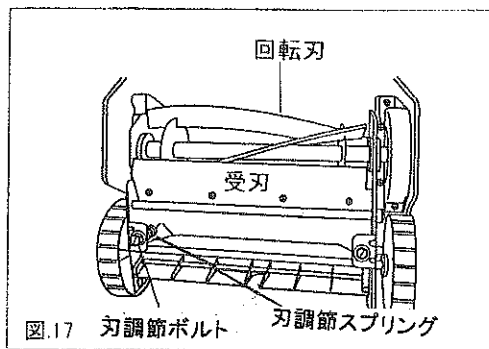
※ドライバー等でベルトを軽く持ち上げプーリーの山からずらしながら回転刃を回転させると外れます。(図. 19)

(5) ベルトの取付はモータープーリー(小側)の溝にベルトの山を確実に掛けてからリールプーリー(大側)の溝にベルトの山を確実に掛けます。(図. 20)

(掛け難い場合はドライバーを用いて外した時とは逆の手順で掛けて下さい。)

(6) ベルトがリールプーリーに確実に掛かった事が確認出来ましたら回転刃を回転させて確実にリールプーリーに掛けて下さい。(図. 21)

(7) 回転刃を2~3回、回転させて、ベルトが各プーリーに確実に掛かっているか確認して下さい。(図. 22)



! 注意

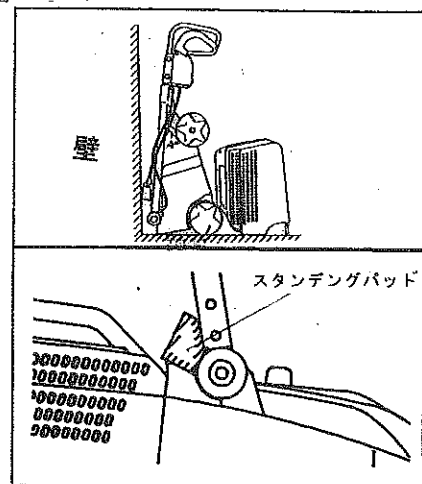
ベルトを取付け・取外し時に、リールプーリーにキズを付けないで下さい。ベルトが作業中に破損する恐れがあります。

- (8) 異常が無ければ、ベアリングホルダー・刃調節ボルト・刃調節スプリング・T型ナット・ベルトカバーの順で取付て下さい。
- (9) 受刃の交換は受刃を取り付けている4本のスクリューを外して受刃を交換して下さい。

8. お手入れと保管方法

1. 使用しない時は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 本体・グラスキャッチャー・ハンドルなどを乾布でよく掃除し、金属部分は油布で手入れをして下さい。
※ガソリン・シンナー・ベンジン等は使用しないで下さい。
3. 掃除の後、日中によく乾燥させて下さい。
4. 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
5. 回転部に機械油を注油して下さい。
6. 回転刃、受刃は、特によく掃除の後、サビないように油拭きをして下さい。
7. 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納して下さい。
8. 使用後は、お子様の手の届かない鍵のかかる所に保管して下さい。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気のない、ゴミ、ホコリの付かない所に格納して下さい。
10. 格納する時は、ハンドル（上）を縮めてキャッチャー本機より取り外し、倒れても危険のないようにして下さい。
11. ハンドルを立てて、展示する場合は付属のスタンディングパッドを、ハンドル（下）とフレームカバーの間に挟み込んで使用して下さい。

※ ハンドルが倒れても危険の無い場所に置いて下さい。





製造番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

3388-9806Z